

# 横浜国立大学 剣友会創立40周年記念総会



## ～総勢150名の学生歌「みはるかす」 大合唱に感動～

平成19年6月23日（土）横浜国立大学剣友会の創立40周年記念総会が盛大に開催されました。剣友会総会は例年6月の第4週土曜日を定例として開催しています。

昭和42年（1967年）横浜高商剣友会の発展的解消後、横浜国立大学剣友会発足、剣友会が創設されてから絶えることなく継続してきた剣友の活動です。ここ数年で剣友の人数も330名を数え、高商・高工剣友から現役学生まで約60年の世代をまたがる大規模な組織に成長しました。

特に今年度は40周年記念ということで「剣友の旧交を温め、剣道の良さを再確認して一日を楽しむ」事を目標に掲げ、全体を2部構成にして一日を大いに楽しんでもらうように企画をし、また、平素より剣友会活動に御尽力いただいている各方面に対しても感謝の意を込め記念すべき総会への御招待を差し上げました。

主催幹事側としてはそれだけの意気込みと感謝の気持ちをもって本総会の準備をすすめていたわけではありますが、



総勢80名の大記念試合

大変突然でぶしつけなお願いに対して横浜国立大学経済学部 学部長の秋山太郎様から御出席の快諾を頂き、富丘会からは太田副理事長様、北澤事務局長様の御二人がご参加下さったことは40周年の節目にふさわしく、剣友会のすばらしい歴史の一ページとなりました。また、飯田学長をはじめ、多くの学部長の先生方からも暖かい御祝辞を頂戴し、この場をお借りして幹事一同厚く御礼申し上げます。



美馬会長からの挨拶



経済学部長 秋山太郎様

## 「剣友の旧交を温め、剣道の良さを再確認して一日を楽しむ」

歴史的な総会はずまず第一部を「記念試合」と銘打ち、横国大の体育館1階アリーナ全面を借用し約80名が参加して



大先輩チーム そうそうたるメンバー

開催されました。（試合参加者60名 見学者20名）

卒業年度毎に5名～7名で1チームを編成し全体で8チームのトーナメントを実施、当初は若手組みと年輩組みとを分けて試合を行うアイデアもあったものの、やはり世代の違いを超えて交流することこそ剣道の良さであるという総意で「年齢差40年」の大先輩—大後輩が対決する記念試合となりました。普段から稽古を続けている剣友が増えてきた為か接戦に注ぐ接戦で見学者からも大きな声援の超えが飛び盛り上がりとなりました。



富丘会元副理事長

## 横浜中華街重慶飯店(ROSE HOTEL)にて

続いて第二部は例年とは場所を変更し横浜中華街重慶飯店(ROSE HOTEL)で開催。女性や遠方からの参加を考慮して開始時間を1.5時間早め、午後5時からとしました。

国大体育館から貸切の大型バスの到着を待ち定刻どおりのスタート、この時点での総会出席者は、剣友130名と現役学生22名の合計152名。創立40周年の名に恥じない立派な総会となりました。参加した剣友も学生時代に苦勞

をともした同期生と同じ卓を囲み多くの先輩後輩と当事の思い出話に花を咲かせました。



旧交を温める機会の提供を目指しました。さらに、35周年記念事業として「35周年記念誌」の編纂を掲げ約2年の月日を掛けて剣友からの寄稿文と富丘会掲載記事の記録、年表を整備し、総数100ページを超える記念誌を完成させました。この10年間はこうした組織面での再スタートを続けてきた剣友会であり、また継続的な発展を願う先輩方の活動を集大成するような期間であったと言えます。

さて、美馬会長(昭和8年電化)麻生副会長(昭和8年電化)そして蔵原幹事長(昭和47年造船)の決定により記念総会のテーマを「剣友の旧交を温め、剣道の良さを再確認して一日を楽しむ」と設定した後、幹事長から提案された内容は幹事全員が耳を疑うような内容でした。それは「記念総会の出席者は150名以上、これが実現でき

元北海道や九州へ戻って働くものも多数おります。昨今の情勢からみても皆とても忙しく、大学のOB会を最優先に参集することは容易ではないと想像されました。人事を尽くして天命を待つという心境は幹事全員が同じであったらうと思います。

このような事前準備の苦勞もあり無事総会が開催されたことはそれまでの苦勞を一層の喜びにかえるものとなったのは間違い有りません。後日談ではありますが、裏方に徹した幹事メンバーの活躍もこの場で紹介させていただきます。

### 【裏方の話】

今回の40周年記念総会を開催するにあたり剣友会幹事会では約2年前から幾度となく幹事メンバーが集まりどのように記念総会を催すか、またこれまで剣友会を支えてくださった偉大な先輩方に感謝の意をあらわすか打ち合わせを行ってきました。これまでも節目ごとにその時代に沿った企画を提案し30周年の時には会場を県立武道館に設定し、戦後剣道部を復活させるときに大変御世話になった先生方を御招きしました。そして現役学生に対し剣友会が全面的なバックアップ体制を整える主旨から新しい部旗も贈呈しました。また、その後の35周年では会場を弘明寺にある現横浜国立大学付属小学校体育館に設定し、剣友会メンバーの多くの参加と



なければ40周年を祝する意味がない」というものでした。例年の出席者はおおよそ50~60名、10年前の総会では約80名の参加者で大成功と考えていました。

まさにトップダウンのチャレンジではありましたが、その日から幹事メンバーは全剣友を分担し徹底的に電話連絡を試み「6月23日の予定を空けて置くように」というローリング作戦をかけることとなり、勧誘活動は昨年末からスタートし年明けから年度末まで粘り強く続けられました。それでも剣友の多くは教師や実業に携わる忙しい身であり、中には地

「記念総会の出席者は150名以上、これが実現できなければ40周年を祝する意味がない」





## 「年齢差40年」の大先輩一大後輩が対決

### 【第一部】

総会当日現役学生を開始2時間前に集合させ会場整備をはじめました。

天気は快晴、最高気温30度の猛暑の中、集まった剣友約80名に学生20名を加えた総勢100名が記念試合に参加をしました。会長からの冒頭挨拶を受け、日本剣道形の演武。刃引きの日本刀を擁し演者には打太刀教士七段 幡野剣友（昭和54年経済）、仕太刀教士七段 石川剣友（昭和57年材料科学）という万全の体制。会場の雰囲気は一気に引き締まったものとなりました。

その後の記念試合も緒戦から白熱の展開となりました。



秋田（昭和44年経済）緒形（昭和45年教育）を筆頭に段位七段の先輩方を中心とするチームとそれに続く座間（昭和51年教育）幡野（昭和54年経済）岩城（昭和55年船舶海洋）の壮年チームの対戦では、一進一退の攻防に会場全体が息を呑み

の顧問をする安部剣友（平成11年教育）で、長野県代表として都道府県対抗に出場し、3年連続全日本選手権の長野予選三位の成績をおさめているだけありその強さは圧巻であった。

決勝には橋本（昭和55年電気）外山（昭和58年経済）福嶋（昭和58年教育）有竹（平成4年建築）青柳（平成5年電子情報）チームと喜納（平成12年生産工）川津（平成



13年建築）杉野（平成13年教育）大塚（平成14年木工）河田（平成14年教育）チームが進みました。

準優勝チーム

が繰り広げられたことに学生も驚きの眼差しで見届けるばかりでした。

誰一人として体調不良を訴えたり怪我をすることもなく無事に第一部を終了しました。



優勝チーム

ました。もう一方のリーグでは大学を卒業したばかりの20代中心の若手チーム、日下（平成15年経済）中原（平成16年木工）倉光（平成16年教育）田村（平成18年生産工）佐藤（平成18年教育）上妻（平成18年建築）が大塚監督（平成14年木工）を中心とする実力派チームに激しい試合を挑みました。



1回戦が終了したところで会場の熱気と真夏の合宿を思い出すような気候に急遽会場に給水所が設けられしばしの休憩が取られました。更に試合は



続き、目立ったのは現在長野県の佐久長聖高校で剣道部

橋本・有竹剣友は実業団でも試合をこなす実力派、さらに外山剣友の上段はそれまでの2試合で会場を沸かせていました。対する喜納・大塚剣友も実業団所属、川津剣友は学生時代に全日本学生へ出場経験のある試合上手。

それぞれの年代を代表する名選手同士の対戦に会場の盛り上がりは最高潮を迎えました。上座で試合を観戦していた宮本海先輩や天野名誉会長も真剣な様子で試合を見届けました。決勝戦の結果は、若干の若さの差か、若手チームの優勝となりました。

2時間にも及ぶ試合の後は恒例の合同稽古、久々の再会が心を熱くし、気温上昇の中さらに40分間の互角稽古

## 天気は快晴、最高気温30度の猛暑



## 総勢150名出席の大総会の開催

### 【第二部】

第二部は稽古に参加をした80名とさらに総会から参加をする50名を加え重慶飯店（ROSE HOTEL）の披露宴会場が超満員となったところで開会を迎えました。

冒頭の会長挨拶では、剣友会の結束の強さを再認識するとともにこれからの剣友会の発展を担う若手の剣友へのメッセージが送られました。



続いて経済学部長秋山様からは日頃の学生との交流を通じた実感として、より幅広い年代との交流や先輩後輩のような深い人間関係、母校への誇りや愛着のような精神面での成長を現役学生に期待するという暖かい御支援の言葉を頂戴いたしました。

さらに、富丘会の太田副理事長からは目下富丘会が担っている横浜国

### 草創期の苦しい時代を支えてくださった

開始から1時間ほど経過し、メインイベントの功労表彰となりました。

表彰者の第一番目は横山金一先生。氏は剣道部創部当初から退官にいたるまで一貫して剣道部長を務められ、いまなお防具を担いで道場に足を運んで来られます。

草創期の苦しい時代を支えてくださった先生に剣友会から感謝状と心ばかりの御礼を差し上げました。



続いては渡部潤剣友（昭和17年高商）。氏は高商卒業後会社を退職するまで剣道から遠ざかり一度も竹刀を握ることなく過ごしたにも関わ

が、「天野を知らない剣友は居ないはず」この言葉の現す通り全ての剣友の「御世話」をしてきたからこそ、いまなお変わることなく剣友・現役学生から敬意の念をもって評されています。剣道部の「御世話」を通じてさらに御自身も教士七段に達せられていることは剣の道をあきらめず精進しつづけることの大切さと勇気を与えてくれるものです。

3名の先輩方においては後進の至らなさに御心配もあろうかと思いますが後輩一同、不世出の先輩方に少しでも追いつくべく心新たに功労の表彰を差し上げました。



立大学の同窓会としての重要な役割やその一部である剣友会と富丘会との密接なつながり、人的交流についてお話を頂き、今後の剣友会活動への指針を示していただきました。剣友会の大きな節目にあたりこのような来賓をお迎えすることができたことは何ものにも代えがたい宝であると実感しました。更に横浜国立大学剣友会の梅田先輩からも祝辞を頂いたこともここに報告しておきます。



乾杯の発声は試合でも大活躍した秋田副会長にお願いをし、進行役は同じく剣道形で剣の冴えを見せた幡野剣友。和やかな雰囲気ではじめた総会は式次第に沿って歓談と盛り上がりを取り返し、あっという間に過ぎてゆきました。



ならず、退職後一念発起し稽古を再開、その後七段に合格するまで精進をされました。さらに平成14年第24回全日本高齢者武道大会 剣道 寿B組（80～84歳）で見事優勝を果たし、後輩への指針を示されました。いまなお現役学生と剣を交える姿は国大剣友会にとって誇りであり尊敬の念に耐えません。



最後は天野八郎剣友です。氏の業績はこの場で幾つかを挙げるには及ばずその人生そのものが剣友会であると言えます。受賞後の挨拶では御自身から控えめに話がありました

総会も終盤に差しかかり、先般の昇段審査で見事七段に合格をされた岩城剣友と関東学生剣道選手権大会で見事ベスト32に入り、全日本学生への出場権を得た米倉（3年生）に剣友会から袴が贈呈された。

これに加えて学生に対しては40周年記念として記念品の贈呈が行われ、美馬会長から成瀬主将に目録が手渡されました。贈呈品は試合用の手拭100本、剣道部部室の備品一式、その他援助金。現役学生にとっては日頃の剣友会支援に対して試合の結果をもって応える事ができた今年度は喜びも格別。さらにこの総会を弾みに気合も





## 学生への記念品贈呈

入り例年以上に秋の優勝大会の結果が期待されます。特に1年生の女子学生が4名入部し数年ぶりに団体戦を組むことができる為、関東甲信越等での結果は請うご期待というところでしょうか。



## 壮観、圧巻、前代未聞

でも自らの大学・部活への誇りとなるに違いありません。剣友会の幹事メンバーは各年代の剣友の代表から構成されており、その代表幹事が各年代をつなぎとめるアンカーボルトのような役割を果たせば、それぞれの年代がバラバラにならず剣友会という大きな船団が航海して行くことができるでしょう。

ここに無事40年を向けえた剣友会の報告をさせていただくとともに、改めて横浜国立大学剣友会に御支援を頂く皆様方に御礼を申し上げます。

(平成11年経営 平成13年国社 中川)

辺 みほ 昭和51 (大学24) 渋谷 京子 昭和52 (大学25) 南 圭一 昭和52 (大学25) 種子島 俊彦 昭和52 (大学25) 小野 國昭 昭和52 (大学25) 鈴木 博行 昭和52 (大学25) 木村(伏見) 道子 昭和53 (大学26) 浅原 宏 昭和53 (大学26) 森田 祐司 昭和56 (大学29) 菊地 邦充 昭和55 (大学28) 高田 茂 昭和54 (大学27) 幡野 幸一 昭和54 (大学27) 齊藤 正毅 昭和54 (大学27) 匹田 新 昭和54 (大学27) 佐藤 啓一 昭和55 (大学28) 田中 不二夫 昭和55 (大学28) 吉原 準一 昭和55 (大学28) 瀧野 聡志 昭和55 (大学28) 岩城 寧 昭和55 (大学28) 木名瀬 孝夫 昭和55 (大学28) 福本 俊彦 昭和55 (大学28) 橋本 潔 昭和55 (大学28) 佐々木 (馬場) 康子 昭和55 (大学28) 田中 弘子 昭和55 (大学28) 橋口 裕子 昭和58 (大学31) 外山 卓夫 昭和56 (大学29) 牧口 浩文 昭和56 (大学29) 古沢 由紀恵 昭和57 (大学30) 田中 和美 昭和57 (大学30) 石川 信行 昭和57 (大学30) 小田嶋 満 昭和57 (大学30) 大塚 亘 昭和58 (大学31) 山本 悦 昭和57 (大学30) 八木 大介 昭和57 (大学30) 出沢 尚子 昭和58 (大学31) 福嶋 圭輔 昭和58 (大



いよいよ総会も最後の式次第となり、この数年の総会の定番となっている麻生副会長の万歳三唱の出番となりました。御自身は御夫人も同伴されていた関係で気恥ずかしさもあつたかも知れませんが剣友全体が期待する流れは止めることができず、万歳三唱しないと終わる気がしないという者も現れる程強烈な万歳三唱で全体が一つになりました。

そして会場を取り囲むように全員が円陣を組む。高商の先輩から現役の学生までそして来賓の方々を加えた150名の円陣は壮観、圧巻、前代未聞、そして貴重な経験でした。その円陣から発せられるエネルギーは学生歌「みはるかす」に乗って会場中に響き渡りその歌詞が心に染みわたりました。

午後8時閉会会場を後にする剣友会メンバーの楽しそうな様子をみるにつけやっぱり同窓会は無くてはならないと再確認しました。綿々と続いてきた良き伝統を受け継ぎ学生に伝えていく事がきっと現役の学生にとつ



学31) 菅野 哲郎 昭和59 (大学32) 枝迫 大成 昭和59 (大学32) 西山 一良 昭和59 (大学32) 小沢 孝明 昭和59 (大学32) 高田 晴彦 昭和59 (大学32) 高田 忠員 昭和59 (大学32) 寺本 浩行 昭和59 (大学32) 大橋 由紀子 昭和59 (大学32) 寺本 和代 昭和60 (大学33) 小澤 勝也 昭和60 (大学33) 津田 将美 昭和60 (大学33) 宮垣 明英 昭和60 (大学33) 金 浩昭 昭和61 (大学34) 竹田 泰郎 昭和61 (大学34) 藤麻 雄三 昭和61 (大学34) 木村 俊彦 昭和61 (大学34) 小林 司 昭和61 (大学34) 児島 学 昭和62 (大学35) 清水 良 昭和62 (大学35) 宮内 博司 昭和62 (大学35) 浅見 洋光 平成3年 (大学39) 木村 慎也 平成3年 (大学39) 栗本 雅水 平成4年 (大学40) 有竹 剛 平成4年 (大学40) 石原 学 平成5年 (大学41) 青柳 靖 平成6年 (大学42) 原 信幸 平成8年 (大学44) 高砂 大 平成9年 (大学45) 太田 剛 平成9年 (大学45) 牧野 良次 平成10年 (大学46) 角 憲太郎 平成10年 (大学46) 樺山 貴史 平成10年 (大学46) 真野 純次 平成11年 (大学47) 安部 博文 平成11年 (大学47) 清水 久嗣 平成11年 (大学47) 中川 弘昭 平成11年 (大学47) 石黒 長宏 平成11年 (大学47) 小野 雅道 平成11年 (大学47) 長谷川 真也 平成11年 (大学47) 山田 浩二 平成12年 (大学48) 喜納 祐介 平成13年 (大学49) 川津 大輔 平成13年 (大学49) 杉野 武大 平成14年 (大学50) 大塚 学 平成15年 (大学51) 日下 和俊 平成16年 (大学52) 中原 貴之 平成16年 (大学52) 日向 美樹 平成16年 (大学52) 長池 雄也 平成16年 (大学52) 浅井 顕 平成18年 (大学54) 佐藤 秀哉 平成18年 (大学54) 上妻 清馨

<http://homepage1.nifty.com/percival/ynu/>

横浜国立大学 体育会剣道部の公式ホームページ

OB・OGのメールアドレスを連絡してください！  
今後の連絡に用いさせていただきます。（学生・剣友会）

中川 弘昭まで連絡ください。  
vyh02353@nifty.ne.jp

各年代に幹事がおります。

- 美馬 宏三      kozo-mima@nifty.com
- 麻生 興太郎
- 金沢 衛        mkanazawa@luck.ocn.ne.jp
- 秋田 範正      rion-izmi@mri.biglobe.ne.jp
- 宮部 安男      yasuo.miyabe@tsmed.co.jp
- 蔵原 成実      shigemi\_kurahara@ihimu.ih.co.jp
- 渋谷 英樹
- 南 圭一        keiichi@kk-373.co.jp
- 種子島 俊彦    tanegashima@jp.fujitsu.com
- 幡野 幸一      theHatanos@aol.com
- 岩城 寧        yasushi\_iwaki@notes.isuzu.co.jp
- 石川 信行      ishikawa.nobuyuki@canon.co.jp,
- 枝迫 大成      tai.edasako@mx1.ttcn.ne.jp
- 宮内 博司      h-miyauchi@00.em-net.ne.jp
- 木村 慎也      shinya-kimura@smbcleasing.co.jp
- 栗本 雅水      kurimoto.masami@canon.co.jp
- 有竹 剛        aritake.tsuyoshi@takenaka.co.jp
- 高橋 健太郎    takaken@gen.gunma-ct.ac.jp
- 太田 剛        t-ota@itochuib.co.jp
- 樺山 貴史      takafumi0401@yahoo.co.jp,
- 中川 弘昭      vyh02353@nifty.ne.jp    hiroaki4.nakagawa@toshiba.co.jp
- 大塚 学        otsuka.manabu@canon.co.jp
- 佐藤 秀哉      hidechikan@mail.goo.ne.jp

## スナップ写真館

